

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	平成 30年 6月 14日
契約業者名	(一財) 阪神高速道路技術センター
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪神高速道路におけるコンクリート構造物の長寿命化に関する調査研究業務
業務場所	阪神高速道路(株)が指定する場所
業務種別	土木設計
業務概要	打合せ・資料作成・・・・・・・・・・ 1式 補修・補強方法の検討・・・・・・・・・・ 1式 実験計画策定・・・・・・・・・・ 1式 検討会の運営・・・・・・・・・・ 1式 大型PC梁試験体に関する調査・・・・・・・・ 1式 課題整理・・・・・・・・・・ 1式 報告書作成・・・・・・・・・・ 1式
業務期間(自)	平成 29年 10月 7日
業務期間(至)	平成 30年 6月 15日
契約金額	19,742,400 円
変更金額	3,456,000 円 増
変更後の契約金額	23,198,400 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路におけるコンクリート構造物の長寿命化に関する調査研究業務 第1回変更

当初、本業務では、実構造物ASR劣化梁のFEM解析をベースとした検討を考えていたが、「PC構造物検討委員会」・「ASR劣化PC梁補強検討WG」の審議において、解析検討において、モデル化等の妥当性を評価するには、実構造物よりは、劣化過程における多くの計測データを有する試験体を解析の対象とする方が、適切である旨の意見があった。この意見をふまえ、検討方法を変更し、実構造物ASR劣化梁に対する設計計算ベースの断面照査（感度分析）を主体とし、適宜、ASR試験体を対象としたFEM解析による検証を加えた上で、補強設計方針を整理することとした。

・補修・補強方法の検討（一部変更）

〈当初〉実構造物ASR劣化梁のFEMベースとした検討

外ケーブル補強による既設鋼材への影響検討	1式→0
ASRを考慮した外ケーブル補強設計方法に関する検討	1式→0

〈変更〉実構造物ASR劣化梁の断面照査をベースとし、適宜ASR試験体のFEM解析により検証

感度分析による設計上の留意点の検討[実構造物]	0→1式
FEMによる留意点の検証[試験体]	0→1式
ASR劣化PC梁の外ケーブル補強に関する設計方法の検討	0→1式

・一連の検討結果や、ASR劣化PC梁の補強設計の信頼性を向上させるために取り組むべき課題の整理を追加。